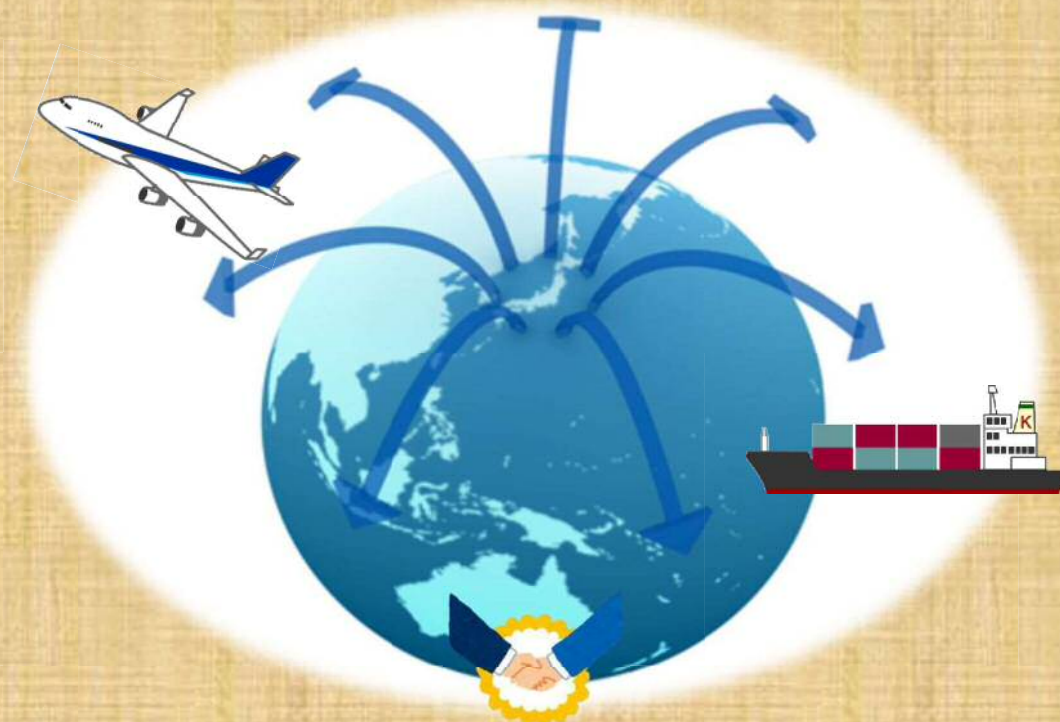


2018. 12

貿易ニュース鹿児島

Kagoshima Trade News



Contents

海外レポート（シンガポール）	1
中国派遣研修生レポート（第2弾）	4
Information	9
新着図書情報	13
外貿港情報（鹿児島港、川内港）	14
貿易相談のご案内	17
通訳・翻訳/メーリングリストのご案内	18
新規入会会員募集のご案内	19

（別巻）

鹿児島税関支署管内貿易概況（9月）

シンガポールだより

鹿児島県 ASEAN ディレクター
シュ ユエンシャオ ケナード



読者の皆様、おやっとなさあです！2016年4月から着任し、今年3年目に突入した鹿児島県 ASEAN ディレクターのケナードです。シンガポールをはじめ、マレーシア、インドネシア、タイ、ベトナムを回り、東南アジアにて国際交流、鹿児島県産品の販路拡大、インバウンド観光客の誘致などの業務を実行しています。今回は、シンガポールでの鹿児島県産食材の売り込みを含めた、PR戦略について考えていきたいと思っております。

日本の多くの地方自治体や企業は、海外で食材を売り込む際、現地に駐在または在住の日本人、あるいは日本ファンの地元の人がよく利用する、日系スーパーや日本の飲食店をターゲットにしています。

特に現地の日系スーパー、あるいは一部の日本の飲食店が実施している所謂「回転式」（月毎で違う日本の地方が取り上げられる）のプロモーションフェアに参加する傾向が見られます。

鹿児島の場合、東京、大阪、北海道などと比較すると、相対的に知名度が低い為、「回転式」プロモーションフェアに参加すると、その2週間～1ヶ月程度の露出期間内は良いかもしれませんが、フェア終了後は、すぐに忘れられる傾向にあります。

特に日本の地理や地名に詳しくないシンガポール人にとって、「カゴシマ」はよく「ヒロシマ」や「フクシマ」と混同され、「日本かつ九州の中にある鹿児島県」という位置付けにすると印象が残りません。まずは全体的な鹿児島のブランド力を上げる必要がある為、「日本の鹿児島！」というスタンスで目立たせた方が効果的でしょう。

The image shows a page from 'JAPAN RAIL TIMES' with the headline 'THIS MONTH'S FEATURE: KYUSHU · KAGOSHIMA'. The main feature is a 'Burst Fish Don (with Satsuma-age)' priced at \$6.20. Below it are two other items: 'Black Sugar Maccha Latte' and 'Shochu Cocktail! Mocktail series'. The page also includes a small map of Japan and a 'JAPAN RAIL CAFE' logo.

これまでの取組としては、2017年10月から1ヶ月間、シンガポールの都心部に所在する JR カフェにて鹿児島の食材や工芸品を PR する「鹿児島フェア」を開催しました。フェアの開催期間中、通常メニューとは別に、鹿児島の食材を使用した「ぶり丼さつま揚げ添え」、「黒糖抹茶ラテ」、「本格焼酎カクテル」の三品が提供された他、同カフェの売店コーナーでは、さつま揚げ、黒酢、サムライラーメン、抹茶、ショウガ茶、ゴボウ茶などの県産品が販売されました。

また、一般向けの焼酎プロモーションイベントを1回と観光セミナーも2回、併せて開催しました。

また今年7月には、「サクラヤ」という日本食レストラン兼スーパーにて1ヶ月間の「鹿児島フェア」を開催しました。

なお、開催時期については、奄美大島出身の歌手である中孝介氏と元ちとせ氏のシンガポール公演のタイミングと合わせたことから、サクラヤとライブ会場の双方で鹿児島のPRを行い、相乗効果を高めることができました。



レストランでは、さつま揚げやソラマメ、ウナギなど、鹿児島県産の食材を使用した創作料理8品を提供し、スーパーでは、本格焼酎、焼き芋チップス、葛餅、鰹節、紫芋うどん、かつおだしパック、黒酢等の鹿児島県産品の販売を行いました。

併せて、焼酎セミナーと観光セミナーも1回ずつ開催されました。

サクラヤは1987年にシンガポールで創業し、国内で東部、中部と西部に合計3店舗があり、日本から水産物を空輸で輸入し、現地の人々に新鮮なお刺身や海鮮料理を提供していることが知られています。

また、地方自治体との定期的な「回転式」フェアプロモーションは実施していない為、サクラヤとのタイアップは、シンガポールの都心部から離れた東部と西部の住宅エリアへ、鹿児島の味・商品を届けることができましたと思います。



今年12月18日から約4ヶ月間、「寿司亭」というシンガポールで大人気の和食レストランチェーンにて、「鹿児島フェア」を開催することとなりました。

実施（露出）期間は従来の鹿児島フェアより長く、レストランのグランドメニューと別途で25品以上を提供する特設「鹿児島メニュー」を予定しており、その中で鹿児島県産の食材を使用した創作料理や、鹿児島の郷土料理等を紹介する予定になっています。

また、寿司亭はシンガポールで13店舗を展開しており、都心部から郊外の住宅エリアまで全国展開している為、寿司亭で鹿児島フェアを開催することにより、更に広く深く鹿児島のブランドイメージと食のPRができ、たくさんのシンガポール人とふれあい、鹿児島の味を届けられ、大きなPR効果が期待できると思います。

今日のシンガポールでは、日本食や日本の商品がかなり市場に浸透している為、都心部に行かなくても、郊外の一般住宅エリアのショッピングモールで日本食を食べることができ、日本の食材や商品も簡単に入手できます。

また、特に若い夫婦の場合は、共働きの家庭が多い為、ネット通販で買い物する傾向にあります。このようなことから、今後の活動としては、鹿児島県の食を PR する際、都心部の数限りある日本の飲食店や日系スーパーを攻めるよりも、むしろ地元の人たちがアクセスしやすい住宅街のショッピングモールにあるローカルスーパーや日本の飲食店をターゲットした方が良いと思われ、日本食レストランと日本の食材や商品の普及とともに、鹿児島県産品の PR も都心部から郊外の住宅エリアまで展開していくべきではないかと思っております。

今年は明治維新 150 周年（あと少ししか残っていませんが）、大河ドラマ「西郷どん」の放映等、国内では鹿児島がかなり脚光を浴びています。

2020 年の東京オリンピックかつ国体 in 鹿児島、奄美群島が世界自然遺産登録を目指していることなど、これからの 3 年間たくさん話題性がある為、今こそ鹿児島の豊富で良質な県産品食材、また素晴らしい観光資源などについてもシンガポールを皮切りに、東南アジアでどんどん PR していく絶好のタイミングだと思います。

かごしま PR 課貿易振興係 湯ノ口 恒



平成29～30年度 中国語語学研修レポート(最終) 連載 Vol.3

筆者は、江蘇省南京市での約1年間の語学研修を通して、中国、主に江蘇省、南京市の人々の生活を見てきた。

本レポートでは、この研修を通して見聞きしたことや感じたこと、そして、公表されているデータ等をもとに、中国、江蘇省の現状を明らかにし、本県が南京市への輸出や観光誘致に対して、どのように取り組むべきかを考えたい。

<観光誘致編>

高齢化が進む江蘇省

南京市内における観光誘致について考えると、前回(Vol.2)に述べたように、中国では、今後高齢化が進むことが明らかであるが、江蘇省及び南京市も同様である。江蘇省の都市別高齢者数をまとめたものが図表15である。

図表15：江蘇省都市別高齢者数（戸籍上）（2016年）

都市名	総人口 (人)	65歳以上の人口		都市名	総人口 (人)	65歳以上の人口	
		(人)	全体に占める割合 (%)			(人)	全体に占める割合 (%)
南京	6,533,074	904,967	13.9%	淮安	5,639,648	683,510	12.1%
無錫	4,802,673	808,262	16.8%	塩城	8,278,453	1,136,027	13.7%
徐州	10,286,369	1,233,070	12.0%	揚州	4,611,323	734,908	15.9%
常州	3,708,073	594,117	16.0%	鎮江	2,717,364	436,995	16.1%
蘇州	6,669,514	1,130,458	16.9%	泰州	5,075,984	859,743	16.9%
南通	7,667,423	1,466,886	19.1%	宿遷	5,863,234	608,779	10.4%
連雲港	5,304,495	553,042	10.4%				

資料：江蘇統計年鑑をもとに筆者作成

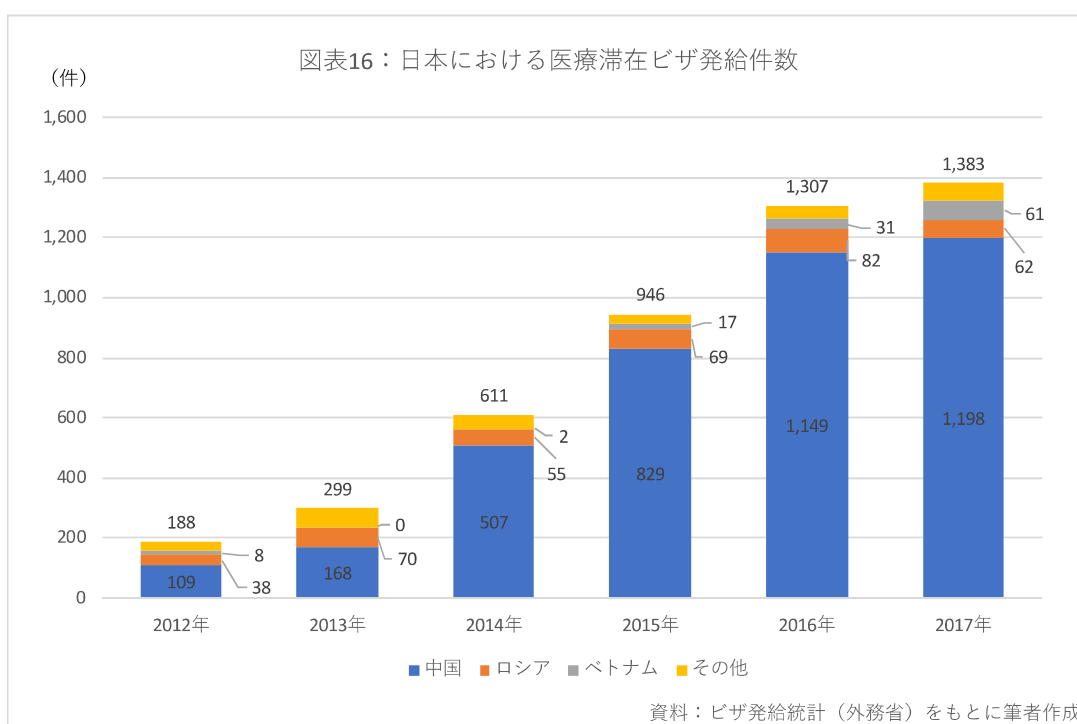
例えば、南京市の高齢化率は13.9%であり、蘇州市に至っては、16.9%と高い割合を示している。全国の高齢化率が10.1%であることから、江蘇省内のいずれの都市も全国の高齢化率を上回っていることが分かる。

また、具体的な数値は手に入らなかったものの、江蘇省は、中国の中でも、比較的経済発展が進んでいる省であることから、生活習慣病罹患者も相当数存在することが予想される。このことから、今後、南京市で生活している人々もこれまで以上に「健康」や「老後」を真剣に考えるようになるだろう。

十分な需要が見込める医療渡航事業

そこで、観光誘致策として、提案したいのが医療渡航(医療インバウンド)である。医療渡航とは、「日本の医療機関による外国人患者の受け入れの中でも、日本の医療機関での受診を目的に渡航する外国人患者を受け入れること」をいう^(※16)。

現在、日本では、経済産業省を中心に医療渡航に対する取り組みが加速しており、2010年に閣議決定された政府の「新成長戦略(基本方針)」にも盛り込まれている。渡航受診者の実数は不明とされている(2015年時点で約5~6万人と推測している報道もある^(※17))^(※17)が、日本における医療滞在ビザ発給数は、年々増加している(図表16)。



楽観的な試算であるという批判もあるが、2010年に発表された日本政策投資銀行の報告^(※18)によると、医療渡航(当時は、医療渡航のことを医療ツーリズムと称していたが、医療渡航と医療ツーリズムは同義であるため、本レポートでは、医療渡航に統一する。以下同様。)の潜在的需要は、2020年時点で年間42.5万人であり、この潜在需要が実現した場合の医療渡航の市場規模は約5,500億円、経済波及効果は、約2,800億円と試算されている(図表17)。

図表17：国内における医療渡航の潜在的な市場規模（2020年時点）

分野	国名	医療 渡航者数 (万人)	医療渡航の市場規模 (観光含む) (億円)		2020年に おける 経済波及効果 (億円)
			うち純医療 (億円)		
検診・健診	中国	31.2	758	5,507	2,823
	ロシア	5.4			
	米国	1.3			
低コストの医療		4.6	923		
合計		42.5	1,681		

出所：日本政策投資銀行

また、医療機関を対象とした経済産業省のアンケート調査^(※19)によると、国別の受入人数の割合(2014年度)で最も多いのは、中国で35.7%、そして、ロシア7.9%、米国7.0%と続き、ここでも中国人は、存在感を見せている。先述の日本政策投資銀行の試算では、その潜在的な医療渡航者のうち、中国が31.2万人、実に7割以上を占めるといって推測されている。

日本は医療渡航後発国

もっとも、日本は、この医療渡航については後発国であり、アジアの他国が一步も二歩も進んでいる。メディカルツーリズム協会^(※16)によると、シンガポールでは、1980年代から医療改革を始め、1993年には1万4,000人の外国人患者の誘致、2000年には15万人、2009年には66万人の誘致に成功している。

また、韓国においても、医療観光ビザの新設や医療通訳者の養成等により、2007年には7,901人だった外国人患者誘致数が2009年には約60,200人にまで増加している。

筆者も、今回の研修で知り合った韓国人留学生から「将来は、医療通訳者になりたい。韓国へ医療渡航する人が増えてきているので、医療通訳者を目指して、外国語を勉強している学生も多い」と聞き、すでに韓国では、医療通訳者という職業が一般的になっているのかと驚いたところである。

本県の医療機関でも動きが見られる

実は、本県でもすでに動き始めている医療機関がある。本県の社会医療法人緑泉会 米盛病院が、厚生労働省の支援する日本医療教育財団により、外国人患者受入れ医療機関に認定されている。(外国人患者受入れ医療機関とは、多言語による診療案内や、異文化・宗教に配慮した対応など、外国人患者の受入れに資する体制が整っていると評価された医療機関のことをいう^(※20)。)さらに、当院は、2016年に北京市に医療渡航相談窓口を新設した^(※21)ほか、2017年11月に北京市で開催された、中国から海外への医療渡航をテーマとした展示会である「第7届中国国際医療旅遊(北京)展覧会」に出展する^(※22)等、中国人客の誘致に積極的に動いているようである。

また、本県指宿市にあるメディポリス国際陽子線治療センターは、九州初の粒子治療専門施設として、国内外に相談窓口を設け、外国人の治療も行っている。放射線治療の一種である陽子線治療は、身体に優しいガン治療として注目を集めており、国内の陽子線治療件数の15%を当センターが担っているという^(※23)。これらの医療機関は、医療渡航を推進していく際の鍵となる医療機関と言えるだろう。

さらに、筆者が過去、保健福祉部(現:くらし保健福祉部)に在籍したこともあり、以前、本県の某医療機関から、医療渡航者の受け入れを始めていきたいとの考えを聞いたことがある。現在、筆者が把握しているのはほんの一部であるが、本県の医療機関でも少しずつ医療渡航者の獲得に向けて動き出しているようである。

受け入れ体制の整備、医療通訳者の確保、受け入れルールの策定が課題

もちろん、医療渡航を推進するにあたっての課題もある。先述の経済産業省アンケート調査で、問題点や課題・消極的となる理由として上位に挙げられているのが、「国内の患者対応により、人手(医師・看護師・事務スタッフなど)が不足」や「多言語・異文化への対応(院内表示、各種文書や食事など)が困難」、「外国語を話すことができる医師、看護師が不足」である。本県においても、受け入れ体制の整備、医療通訳者の確保、育成が課題となるだろう。

さらに、医療渡航について、日本医師会や、多くの地方医師会が反対の声を挙げているのも事実である。2011年に日本医師会がまとめた「各都道府県における医療ツーリズムの動向^(※24)」を見ると、その反対理由は、大きく①医療の地域間格差につながる、②混合診療の全面解禁につながる、③利益追求を推進し、皆保険制度の崩壊につながる、の3点に集約されるだろう。医療渡航の促進は、あくまで地域医療における医療提供の確保を前提としたルールを作った上で行うべき取り組みである。そのため、先進的に取り組んでいるとされる徳島県等の事例を参考にしながら、ルール作りを行うことが必要だ。

これらの課題はあるものの、医療渡航の促進は、本県への外国人観光客を増やすだけでなく、県内の医療資源の稼働率を向上させることにつながり、その増益が医療設備への投資、医療スタッフの拡充を可能とし、結果的に県民にとっても有益な取り組みとなると考えている。

また、さらに広義に捉えて、本県の温泉等の自然を併せて売りとするこで、高度な医療を要する患者だけでなく、美容や健康増進を目的とする客を誘致する等、より幅広い集客ができ、ひいては、本県の経済を潤すことにもつながるだろう。

3 おわりに

本レポートでは、筆者がこの1年間の研修で、見聞きしたことや感じたことをもとに、南京市内において、本県が取るべき施策について述べた。独りよがりな文章とならないよう、できるだけデータと実際に見聞きしたことの両方を用いつつ、分析したつもりである。現在の派遣先、県上海事務所での研修においても、引き続き、本県の経済成長により有効な施策を追求していきたい。

また、課題も残っている。「輸出編」の内容は、広く本県産品全般を対象としたため、総花的な内容となってしまった。本来であれば、各品目に応じて考えるべきテーマである。今後、品目ごとのアプローチを考えていく必要がある。

「観光誘致編」の内容は、中国国内で集められる情報をもとに記載しているため、本県医療

関係者、観光関係者の生の声を反映することができなかった。医療渡航の促進も、医療関係者や観光関係者の力なくして実現はしない。今後、幅広く情報収集を進めていきたいと考えている。

最後になるが、今回の中国語語学研修は、筆者にとって、初めての海外長期滞在、初めての海外留学であった。日本での生活や通常の海外出張では得られない様々な経験をする事ができ、また、国境を越えた多くの友人もできた。これらは、筆者のキャリア、そして、人生において、非常に貴重な財産になるだろう。その機会を与えてくださった方々、また、今回の研修を様々な形で支えてくださった多くの方々に感謝を申し上げて、本レポートを終えることとしたい。

4 参照

- ※16 (一社)メディカルツーリズム協会「医療ツーリズムの最近の動き：インバウンド」：
http://www.medical-tourism.or.jp/column/mano_column_4/
- ※17 nippon.com「『医療ツーリズム』：着実に外国人受け入れ数増加か？」：
<https://www.nippon.com/ja/features/h00125/>
- ※18 政策投資銀行「進む医療の国際化～医療ツーリズムの動向～」：
https://www.dbj.jp/ja/topics/report/2010/files/0000004549_file2.pdf
- ※19 経済産業省「国内医療機関における外国人患者の受け入れ実態調査」：
http://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/iryou/downloadfiles/pdf/27fy_inbound_NRI_2.pdf
- ※20 日本医療教育財団「外国人患者受入れ医療機関認証制度(JMIP)について」：
<http://jmip.jme.or.jp/navi1.php>
- ※21 西日本新聞経済電子版「鹿児島病院が『医療ツーリズム』北京に窓口、中国人呼び込み強化」：
<http://qbiz.jp/article/91509/1/>
- ※22 経済産業省「海外イベントにおけるブース出展」：
http://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/iryou/downloadfiles/pdf/29fy_inbound_MEJ_China.pdf
- ※23 メディポリス国際陽子線治療センター「メディポリスの特徴」：
<http://medipolis-ptrc.org/feature/>
- ※24 日本医師会「各都道府県における医療ツーリズムの動向」：
http://dl.med.or.jp/dl-med/teireikaiken/20110126_2.pdf

【Information】

「貿易アドバイザーセミナー in 熊毛地区」参加者募集

当協会では、県内企業等の海外展開を支援するため、貿易・通関等の分野の貿易アドバイザーによる貿易セミナー及び個別貿易相談を開催します。

海外展開をお考えの企業様、関係機関の方々はぜひご参加ください。

【日時】 12月6日(木)13:30～17:00

【場所】 鹿児島県熊毛支庁(3階第1会議室西之表市 西之表7590)

【定員】 30名程度

【受講料】 無 料

【主催】 鹿児島県、公益社団法人鹿児島県貿易協会、ジェトロ鹿児島貿易情報センター

【共催】 独立行政法人中小企業基盤整備機構九州本部

【内容・講師】

- ・鹿児島から世界へ～食品の輸出～(仮題) ▶弓場貿易(株) 代表取締役 弓場 秋信 氏
- ・県内港の輸出環境と利活用(仮題) ▶(株)共進組 海外営業部部长 梅木 洋一郎 氏
- ・中小機構の海外展開支援と支援事例 ▶中小機構九州本部
- ・新輸出大国コンソーシアム支援内容と中小企業の海外展開例 ▶JETRO鹿児島貿易情報センター
- ・鹿児島県の貿易振興の取組 ▶鹿児島県 PR・観光戦略部かごしまPR課

※詳細・お申込みはこちらから。 <http://www.kibc-jp.com/new/3075>

お問い合わせ

(公社)鹿児島県貿易協会 担当: 迫田、徳田、上村

TEL: 099-251-8484 FAX: 099-251-8483

Email: info@kibc-jp.com

「英文貿易実務ワークショップ基礎編」参加者募集

ジェトロ鹿児島では、「英文貿易実務(英文契約書、船積書類、英文Eメール)」に絞った、実際に英文で貿易実務書類を作成できるようになるためのワークショップを開催します。

人数も10名程度に限定し、講師に随時質問をしながら、一緒に手を動かして書類作成を体験し、今後の貿易実務に役立てていただける内容となっています。

日頃貿易実務に携わっている方や、輸出にご関心のある方にとって、実務スキルを向上させる機会となりますので、是非ご参加ください。

【日時】 12月3日(月)13:00～17:00

【場所】 ソーホーかごしま会議室A(鹿児島市易居町1-2)

【内容】 ・英文見積書の作成 ・英文契約書の作成 ・英文Eメールの作成
・船積書類(インボイス、パッキングリスト、船積依頼書)の作成

【講師】 ジェトロ鹿児島 貿易投資アドバイザー 廣松 慶宣

【参加費】 無 料

【申込締切】 11月30(金)

※詳細、お申込みはこちらから。

<https://www.jetro.go.jp/events/kag/b56db84f7454265b.html>

お問い合わせ

ジェトロ鹿児島 担当: 川上

TEL: 099-226-9156 FAX: 099-222-8389

E-mail: kag@jetro.go.jp

【Information】

(株)JTbの事業「J's Agri」内、海外向けECサイトのご案内

(株)JTbでは、「J's Agri」事業において、海外向けECサイトを運営しています。
登録料は無料となっておりますので、海外販路拡大の一環としてぜひ登録ご検討ください。

➡ J's Agriとは

J's Agriとは、**地域産品の輸出支援・販売とインバウンド向け地産商品の企画販売を一体的に取り組み**です。そして、その仕組みを推進することで、交流人口を拡大させ地域振興につなげていきます。



➡ J's Agri 海外インターネット販売について (BtoC)

展開国：香港・シンガポール・マレーシア (2017年開設)
台湾 (2018年5月開設)
販売商品：日本産農産物・食品
URL：<https://www.js-agri.jp/>



J's Agri ECサイトの特長

- ・産地直送＝航空貨物利用
- ・小口購入が可能。少量輸送でもリーズナブルな料金設定。
- ・訪日中でも注文ができる。
- ・産地情報、生産者情報の掲載を充実させて、付加価値を醸成
- ・アプリを導入し、モバイルでの購入ができる。

海外インターネット販売の仕組み



J's Agri事業への参加の生産者のメリット

- ・J's Agriサイトの掲載料は不要
- ・発注した商品は、すべて買い取り
- ・産地情報、生産者情報の掲載を充実させて、付加価値を醸成
- ・予約販売、発注を事前にスケジュール化
- ・国内の円決済のため為替差損などのリスクがない
- ・輸送は航空貨物を利用し、商品毎の保存温度帯を維持して輸送する。
- ・輸出入に関する通関手続きは当社指定の業者が実施

お問い合わせ

(株)JTbふるさと開発事業部 地域交流推進課 担当: 和田、坂本、嵯峨、山口

TEL: 06-6120-9123

Email: js-agri@jtb.com

【Information】

見本市情報

～国内開催見本市～

開催期間	見本市名	URL
12月5日(水)～ 12月7日(金) 幕張メッセ	第9回 高機能素材Week 【化学、プラスチック、素材類、先端技術、新素材、合成物】	https://www.ietro.go.jp/j- messe/tradefair/9thHighlyfunctional_56140
12月5日(水)～ 12月7日(金) パシフィコ横浜	国際画像機器展2018 【光学、通信、情報処理、精密・測定・試験機器】	https://www.ietro.go.jp/j- messe/tradefair/ITE_57526
12月5日(水)～ 12月7日(金) 東京ビッグサイト	レジャージャパン2018 【スポーツ、遊戯用具、アミューズメント、公共施設用機器】	https://www.ietro.go.jp/j- messe/tradefair/ILAJ_58878
12月6日(木)～ 12月8日(土) 東京ビッグサイト	エコプロ2018 【環境・廃棄物処理、リサイクリング、エネルギー】	https://www.ietro.go.jp/j- messe/tradefair/EcoPro2018_58617
12月12日(水)～ 12月14日(金) 東京ビッグサイト	SEMICON Japan 【電気・電子、産業用機器、先端技術】	https://www.ietro.go.jp/j- messe/tradefair/SEMICONJapan_58714
12月12日(水)～ 12月14日(金) 東京ビッグサイト	住宅・ビル・施設 Week 2018 【建築・建設、ビル保守管理、公共施設用機器・備品】	https://www.ietro.go.jp/j- messe/tradefair/JAPANBUILD_57568
1月11日(金)～ 1月13日(日) 幕張メッセ	TOKYO AUTO SALON 2019 【自動車、自動車補修・サービス用品】	https://www.ietro.go.jp/j- messe/tradefair/TOKYOAUTO_61708
1月16日(水)～ 1月18日(金) 東京ビッグサイト	第48回 ネプコン ジャパン 【精密機器、先端技術、電気・電子】	https://www.ietro.go.jp/j- messe/tradefair/48thNEPCON_59146
1月18日(金)～ 1月20日(日) パシフィコ横浜	ジャパンフィッシングショー 2019 【趣味、スポーツ】	https://www.ietro.go.jp/j- messe/tradefair/JapanFishing_61732
1月23日(水)～ 1月25日(金) 東京ビッグサイト	健康博覧会2019 【ヘルスケア、保健産業、保健用品、美容関連用品】	https://www.ietro.go.jp/j- messe/tradefair/TokyoHealth_61796

【Information】

見本市情報

～海外開催見本市～

開催期間	見本市名	URL
1月10日(木)～ 1月13日(日) オーストリア / ウィーン	Ferien-Messe Wien 2019 【観光・旅行、ホテル、鉄道、交通】	<a href="https://www.ietro.go.jp/j-
messe/tradefair/FerienMesseWien_61583">https://www.ietro.go.jp/j- messe/tradefair/FerienMesseWien_61583
1月13日(日)～ 1月15日(火) 米国 / サンフラン シスコ	Winter Fancy Food Show 【食・飲料、食品加工、農林水産物】	<a href="https://www.ietro.go.jp/j-
messe/tradefair/WinterFancy_58872">https://www.ietro.go.jp/j- messe/tradefair/WinterFancy_58872
1月14日(月)～ 1月17日(木) ブラジル / サンパ ウロ	COUROMODA 2019 【皮革、履物、アクセサリ、製造・生産技術】	<a href="https://www.ietro.go.jp/j-
messe/tradefair/COUROMODA2019_61716">https://www.ietro.go.jp/j- messe/tradefair/COUROMODA2019_61716
1月14日(月)～ 1月17日(木) アラブ首長国連邦 / アブダビ	WFES 2019 【環境・廃棄物処理、エネルギー】	<a href="https://www.ietro.go.jp/j-
messe/tradefair/WFES2019_61712">https://www.ietro.go.jp/j- messe/tradefair/WFES2019_61712
1月14日(月)～ 1月19日(土)ドイ ツ / ミュンヘン	BAU 2019 【建築・建設、衛生設備、給排水】	<a href="https://www.ietro.go.jp/j-
messe/tradefair/BAU2019_56184">https://www.ietro.go.jp/j- messe/tradefair/BAU2019_56184
1月16日(水)～ 1月18日(金) インド / ニューデ リー	IIGF 【繊維・衣料、スポーツ、アクセサリ】	<a href="https://www.ietro.go.jp/j-
messe/tradefair/IIGF_61723">https://www.ietro.go.jp/j- messe/tradefair/IIGF_61723
1月17日(木)～ 1月20日(日) チェコ / プルノ	GO - REGIONTOUR 2019 【観光・旅行、ホテル、アミューズメント】	<a href="https://www.ietro.go.jp/j-
messe/tradefair/GO_61589">https://www.ietro.go.jp/j- messe/tradefair/GO_61589
1月18日(金)～ 1月22日(火) フランス / パリ	MAISON&OBJET PARIS 【家具・インテリア用品、ギフト用品、家庭用品】	<a href="https://www.ietro.go.jp/j-
messe/tradefair/MAISONOBJETPARIS_60145">https://www.ietro.go.jp/j- messe/tradefair/MAISONOBJETPARIS_60145
1月26日(土)～ 1月30日(水) フランス / リヨン	SIRHA2019 【食・飲料、食品加工、ホテル、レストラン、 ケータリング】	<a href="https://www.ietro.go.jp/j-
messe/tradefair/SIRHA2019_54946">https://www.ietro.go.jp/j- messe/tradefair/SIRHA2019_54946
1月28日(月)～ 1月31日(木) アラブ首長国連邦 / ドバイ	Arab Health 2019 【医療・病院用機器、医療技術】	<a href="https://www.ietro.go.jp/j-
messe/tradefair/ArabHealth_58861">https://www.ietro.go.jp/j- messe/tradefair/ArabHealth_58861

近 着 図 書 資 料 情 報

★ここでは、かごしま海外ビジネス支援センターライブラリーで入手した図書を紹介しています。掲載されている資料は自由に閲覧することができます。
 ★ライブラリーでは、設置してあるパソコンを自由にご利用いただき、インターネットを使って貿易に関する情報を入手できます。
※セキュリティの為、一部閲覧できないサイトもございます。
 ★また、図書や資料等の充実を図るため、みなさまからのご要望も受け付けております。揃えてほしい資料等がございましたら、事務局までご連絡ください。

ライブラリー近着図書(H30.10.21～H30.11.20)			
番号	資料名	発行者名	受入年月日
1	日本貿易会月報 2018 10月号 No.772	一般社団法人日本貿易会	2018/10/22
2	財界九州 10月号 No.1129	株式会社財界九州社	2018/10/22
3	AIBAだより 第90号 2018年10月発行	一般社団法人貿易アドバイザー協会	2018/10/24
4	TSR情報 No.2716	株式会社東京商工リサーチ	2018/10/25
5	商工金融 2018年10月号	一般財団法人商工総合研究所	2018/10/25
6	そうしんビジネスレポート 2018.7-9	そうしん地域おこし研究所	2018/10/26
7	Japanese RESTRANT news Vol.28 No.240	All Japan News , Inc.	2018/10/30
8	TSR情報 No.2717	株式会社東京商工リサーチ	2018/11/01
9	台湾情報誌 交流 2018年10月 Vol.931	公益財団法人日本台湾交流協会	2018/11/02
10	AFCフォーラム 2018 11月号	株式会社日本政策金融公庫 農林水産事業本部	2018/11/06
11	TSR情報 No.2718	株式会社東京商工リサーチ	2018/11/08
12	月刊グローバル経営 11月号 No.423	一般社団法人日本在外企業協会	2018/11/12
13	海外ビジネス情報OITA TRADE&VIEWS vol.121	ジェットロ大分、(一社)大分県貿易協会	2018/11/13
14	TSR情報 No.2719	株式会社東京商工リサーチ	2018/11/15
15	KER経済情報 2018 11月号 Vol.344	株式会社九州経済研究所	2018/11/19
16	マレーシア生活ガイド2018	Mtown Weekly	2018/11/19

☆☆☆ 鹿児島港（谷山）発着 国際コンテナ航路 ☆☆☆

「鹿児島港国際コンテナヤード」

九州地方港では最大級の冷凍冷蔵輸出入拠点へ

コールドチェーンの拠点として 電源コンテナ保管設備を増設
電源プラグを60本へ対応可能



平成28年3月1日 鹿児島市谷山港1丁目24（谷山1区8号岸壁近隣）に、琉球海運㈱鹿児島代理店「㈱共進組」が開設した 私設保税蔵置場「鹿児島港国際コンテナヤード」。

同ヤードは、国際コンテナを約200本（TEU）集積するコンテナヤードで、今まで鹿児島港に無かった「リーファーコンテナプラグ（温度管理を行えるコンテナの電源供給施設）」を48本常設しておりました。この度、お客様の冷凍冷蔵貨物の取扱いに対するニーズにお応えすべく、平成29年7月までに リーファープラグを60本へ増設することとなりました。

これにより「鹿児島県産の農林水産品」等のリーファー輸出入貨物の大口の取扱いが格段にご利用し易くなり、国内輸送費軽減やリードタイム短縮・CO2削減効果をも得られる「鹿児島市内発着」の国際コンテナ物流サービスをご提供させて頂きたいと思っております。

【お問い合わせ先】 ㈱共進組 TEL 099-203-0022 鹿児島県鹿児島市谷山港1丁目24

☆☆☆ 詳しくは、共進組 HP “<http://www.kyoshingumi.co.jp/>” をご参照願います。☆☆☆

琉球海運㈱「みやらびⅡ」運航スケジュール (高雄港より世界各国へ繋がる鹿児島港)

鹿児島発 毎週木曜日 13時～ 高雄港着 (所要日数 3日間)
 香港着 (5日間)
 シンガポール (9日間)

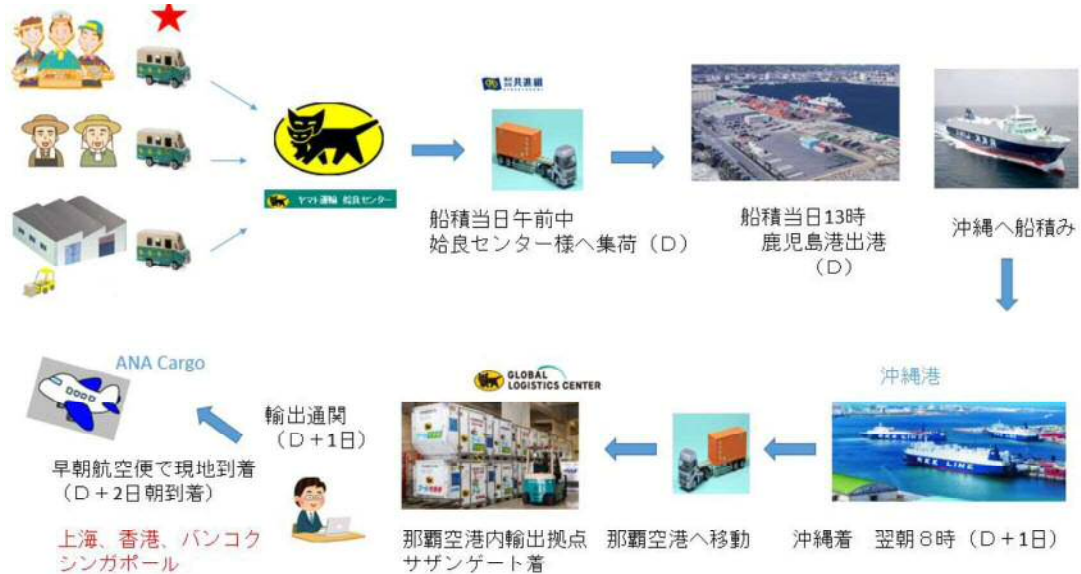
高雄発 毎週日曜日 13時～ 鹿児島着 毎週火曜日 17時着予定



【鹿児島港国際コンテナヤードでの荷役風景】 【ランプウェイ荷役 (船内へシャーシで船積み)】

☆☆☆ 鹿児島港 (谷山) 発着 SHIP&AIR 新サービス開始ご案内 ☆☆☆

鹿児島発沖縄向け国内定期船舶と、那覇国際空港を利用した国際輸送サービスがいよいよ始動いたします。サービス名は、「SHIP&AIR」。鹿児島県、鹿児島アグリ&フード金融協議会、等が体系化した新たな国際輸送ルートです。ヤマト運輸の鹿児島ベース (始良) に集められた荷物を、鹿児島港発の琉球海運の定期船便で沖縄へ輸送。那覇空港で定期国際航空貨物便「ANA Cargo」に搭載しアジアへ輸出する新サービスで、現行 AIR&AIR に対しリードタイムも遜色ない輸送品質で、コストの削減を提案いたします。将来的には、品温別の小ロット貨物 (混載便輸送) も計画しており、南九州から輸出を考えていらっしゃるお客様へ、更なる輸出の選択肢が増え、全国にも例のない画期的なサービスが鹿児島発で開始されます。



「SHIP&AIR」お問い合わせ窓口 ヤマト運輸㈱鹿児島主管支店営業企画課 担当 餅原課長

<http://www.kuronekoyamato.co.jp>

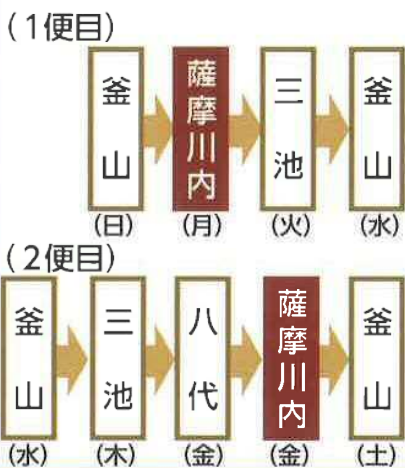
TEL 0995-65-9802

航路概要及び船社紹介

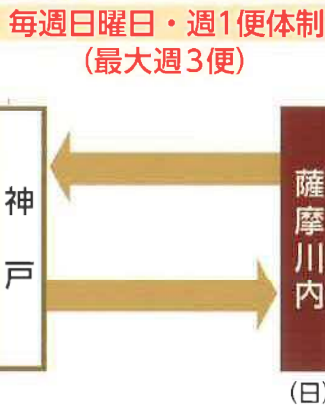
3航路 週4便で運航!!
機能充実、利便性向上の薩摩川内港

▶ 運航スケジュール ◀

韓国(釜山)航路



国際フィーダー航路



※国際フィーダー航路は貨物量に応じて増便

台湾(基隆・高雄)航路



韓国



神戸



台湾



《 船社 》

【興亜海運株式会社】(韓国)
HEUNG-A SHIPPING CO.,LTD.

《 日本総代理店 》

【三栄海運株式会社】
SANEI SHIPPING CO.,LTD.

〒103-0027 東京都中央区日本橋二丁目13-10日本橋サンライズビル2F
TEL:03-3273-4981 FAX:03-3281-8605

(釜山航路・国際フィーダー航路代理店)
乙仲業務・通関業務

【日本通運株式会社 川内支店 川内海運事業所】
〒899-1924 鹿児島県薩摩川内市港町6110-180 TEL:0996-31-2521 FAX:0996-31-2522

(代理店協力会社)乙仲業務・通関業務

《 船社 》

【OOCL(オリエントオーバーシーコンテナライン)(香港)】
ORIENT OVERSEAS CONTAINER LINE LTD.
JAPAN BRANCH

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-2ゲートシティ大崎イーストタワー8階
TEL:03-3493-6001 FAX:03-3493-6405

《 国内運航 》

【井本商運株式会社】
IMOTO LINES CO.,LTD.

【中越物産株式会社 九州流通事業所】

〒899-1924 鹿児島県薩摩川内市港町字松原360-21 TEL(0996)26-3335 FAX(0996)26-3310

乙仲業務・通関業務

日本通運株式会社 鹿児島支店 鹿児島海運事業所
〒891-0122 鹿児島県鹿児島市南栄4丁目43
TEL:099-269-6111 FAX:099-269-3849

株式会社 共進組 外航事務所
〒891-0122 鹿児島県鹿児島市南栄4丁目43
TEL:099-260-6411 FAX:099-260-3706

株式会社 上組 鹿児島支店
〒891-0122 鹿児島県鹿児島市南栄3丁目19-3
TEL:099-269-4523 FAX:099-267-7838

運航スケジュール

	曜 日	日	月	火	水	木	金	土
入 港		○	○				○	
行 先	神戸	釜山	-	-	-	台湾・釜山	-	-

※中国定期コンテナ航路については、平成26年5月から休止中

相談料
無料！！

貿易相談のご案内

(公社)鹿児島県貿易協会では、県内企業等の海外事業展開を支援するため、貿易実務・関税・金融など専門のアドバイザーによる貿易相談を実施しています。

海外との貿易取引に関する基礎知識、輸出入の諸手続き、交渉の進め方、決済の方法、その他海外との取引に関する様々なご相談に応じることにしています。

現在、既に海外との貿易を展開中の方、これから海外貿易を検討したいと考えておられる方などお気軽に貿易相談をご活用ください。

- 相談日：随時
 - 時間：随時
 - 場所：かごしま海外ビジネス支援センター
(県産業会館6階)
 - 相談料：無料
 - アドバイザー：貿易実業者、金融機関、通関実務者、
商社等からの専門アドバイザーが対応。
 - 相談方法：センターライブラリーでの個別相談
(事前に電話等でご予約ください。)
- TEL：099-251-8484



～アドバイザーのご紹介～

担当	アドバイザー	役職名
実務	弓場 秋信	弓場貿易(株) 代表取締役
通関	梅木 洋一郎	(株)共進組 海外営業部 部長 通関士
通関	今村 賢太	鹿児島海陸運送(株)谷山営業所 外航グループ通関チーム長 通関士
金融	上園 祐二	(株)南日本銀行 営業統括部 地方創生推進グループ 上席調査役
金融	久保 敏也	(株)鹿児島銀行 地域支援部 国際ビジネス推進室 室長

※なお、FAX、Eメールでも相談に応じますが、相談内容により回答に時間を要する場合がございます。

アイエス通訳システムズ

翻訳・通訳サービスを承ります。(貿易協会会員は特別割引があります。)
海外への手紙、契約書の翻訳や通訳についてお気軽にお問合せ下さい。



★翻訳基本料金

((基準翻訳料金表))				
日本語→外国語		言語	外国語→日本語	
貿易協会会員	一般		貿易協会会員	一般
¥5,700～	¥6,000～ (400字/1頁)	英語	¥3,800～	¥4,000～ (400字/1頁)
¥5,700～	¥6,000～ (400字/1頁)	韓国語	¥3,800～	¥4,000～ (400字/1頁)
¥5,700～	¥6,000～ (400字/1頁)	中国語	¥3,800～	¥4,000～ (400字/1頁)
¥6,150～	¥6,500～ (400字/1頁)	その他	¥4,750～	¥5,000～ (400字/1頁)

＊ ＊ この他、通訳業務も行っています ＊ ＊

詳しくは、下記へお問い合わせください。

〒892-0824 鹿児島市大黒町 4-1 西日本シロアリいづろビル 2F

TEL : 099-227-5173 FAX : 099-227-2767

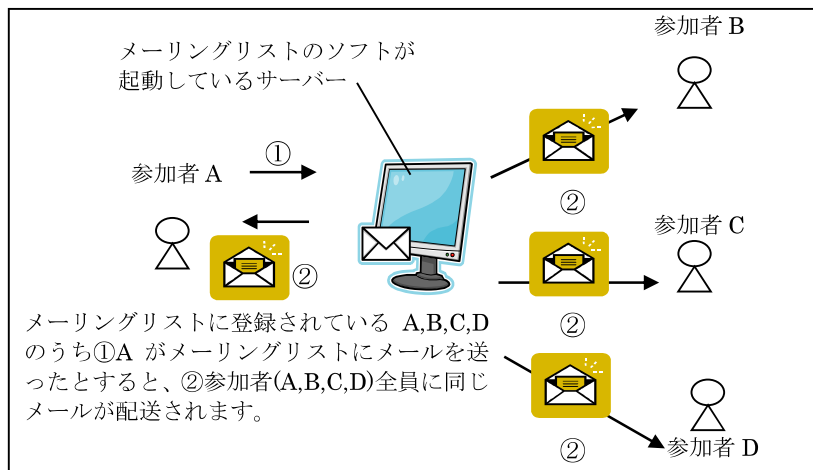
メーリングリストのお知らせ

当協会では、貿易情報を迅速に提供・交換するためインターネットを使ったメーリングリスト（以下「ML」という）を開設しています。

ML とは、リストに参加している全員に同一のメールを同時に一斉配信するインターネットの機能です。

貿易協会からは、貿易相談の案内やセミナー・イベントなどの最新情報等を随時発信しているほか、参加企業・団体からのイベントなどの情報発信も行われています。

参加登録は随時受け付けております。関心のある方は事務局 (info@kibc-jp.com) までご連絡ください。



鹿児島県貿易協会新規入会会員の募集

当協会では、新規に入会していただける会員企業を広く募集しております。

鹿児島県下に事務所や事業所を有し、海外との取引に興味のある企業をご存知でしたら、ぜひ事務局までご紹介くださいますようお願いいたします。

貿易協会概要

鹿児島県下に事業所を持つ貿易業及びこれに関連する事業を営む者並びに関係機関・団体等で構成される公益社団法人です。

会員の相互の連携により、海外ビジネス情報の交換、海外市場の調査、海外取引の斡旋、研究発表などを実施し、海外貿易の促進・振興をはかり、鹿児島の経済発展に寄与することを目的に活動しています。

【設立】：1957年2月22日

【会員数】：123社（平成30年8月1日現在）

【役員】：会長 三反園 訓

理事 20名

監事 2名

貿易協会の業務

- ① 海外市場開拓の支援
見本市参加、商談会開催
- ② 貿易相談
取引業務や苦情処理など貿易を巡る諸相談
- ③ 貿易講演会等の開催
海外市場等に関するセミナーや講演会
- ④ 貿易刊行物の発行・頒布
貿易ニュース鹿児島、ACCESS
- ⑤ インターネットを活用した情報発信
ホームページ、メーリングリスト
- ⑥ かがしま海外ビジネス支援センターの運営
県内企業・個人に対する海外ビジネスの支援

入会金と会費

【入会金】個人 3,000 円（2種会員）

団体 3,000 円（1種・2種・3種会員共通）

【会費】1種会員費・・・団体 30,000 円（年額）

2種会員費・・・個人 24,000 円（年額）

団体 24,000 円（年額）

3種会員費・・・団体 50,000 円（1口あたり/年額）

※1種会員とは外国航路船舶会社、通関業者、金融機関、役員所属企業など。

※3種会員とは地方公共団体、商工会議所、商工会の団体。